

結果の要約

1 職業

和歌山県の15歳以上就業者数(478,478人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が129,375人(15歳以上就業者数の27.0%)と最も多く、次いで「事務従事者」が82,780人(同17.3%)、「販売従事者」が64,611人(同13.5%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が5,832人(13.3%)増、「保安職業従事者」が414人(5.9%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が1,567人(13.0%)減、「生産工程・労務作業」が13,846人(9.7%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が32.4%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が30.2%、「販売・サービス関係職業」が25.4%、「農林漁業関係職業」が10.3%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.1ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.8ポイント、0.2ポイント、0.1ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.5時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.0時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.0時間、「管理的職業従事者」が44.1時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業」が同率となっており、他の職業大分類は減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.9時間減、「販売従事者」が1.9時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が111,569組(夫婦数263,313組の42.4%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が81,322組(同30.9%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「農林漁業作業」である夫婦が14,148組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の12.7%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が10,547組(同9.5%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は90,606世帯(住宅に住む一般世帯378,117世帯の24.0%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は287,511世帯(同76.0%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が107,133世帯(同28.3%)、「女性のみ」の世帯が52,571世帯(同13.9%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が25,348世帯(同6.7%)となっている。

図1 和歌山県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

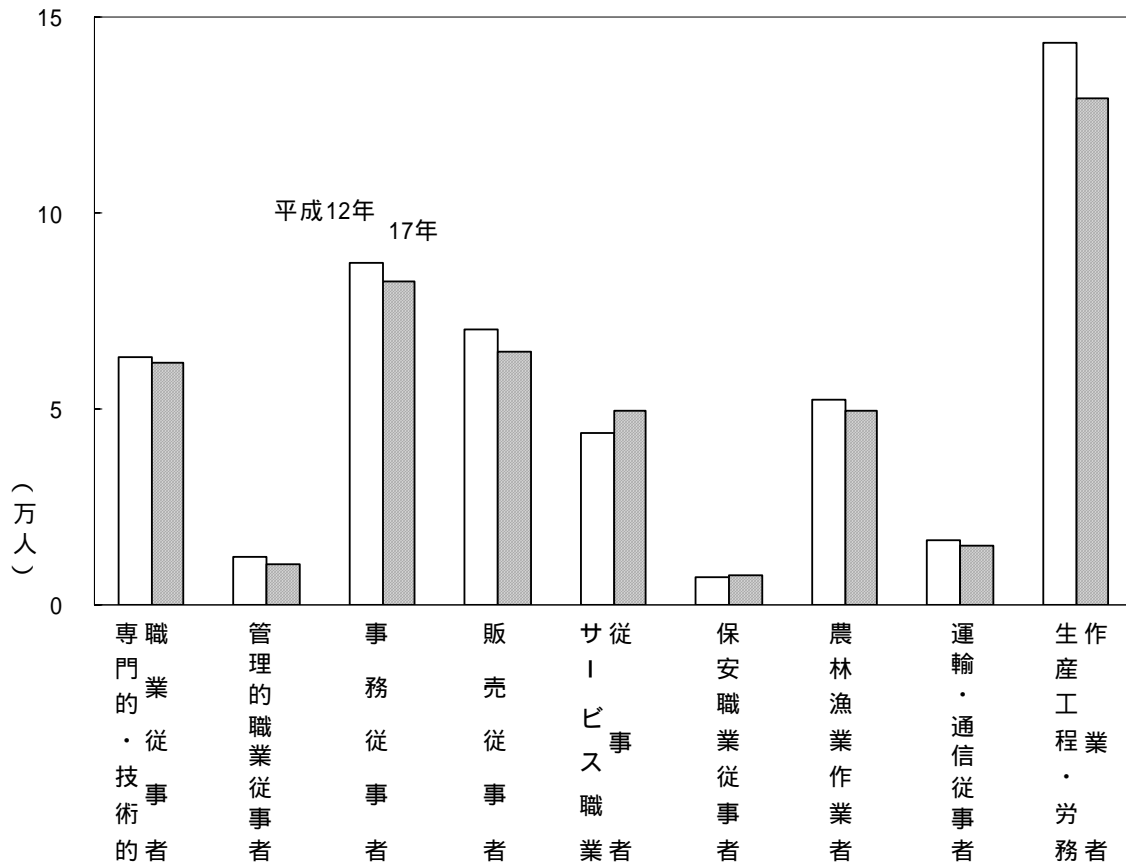


図2 和歌山県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

